



2018年3月27日

各 位

会 社 名 株式会社 東芝
東京都港区芝浦1-1-1
代表者名 代表執行役社長 綱川 智
(コード番号: 6502 東、名)
問合せ先 執行役常務 長谷川 直人
Tel 03-3457-2100

東芝メモリ株式会社四日市工場第6製造棟に導入する生産設備の投資について

当社は、本日、3次元フラッシュメモリ「BiCS FLASH™」の生産拡大のために、当社子会社である東芝メモリ株式会社（以下、東芝メモリ）の四日市工場（三重県四日市市）にて建設中の第6製造棟に導入する生産設備の投資について、下記のとおり決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

当社は、2017年11月9日付「メモリ事業への2017年度設備投資計画の増額について」にて、2017年度のストレージ&デバイスソリューション向け設備投資額（メモリ事業非継続組替前、発注ベース）を4,000億円から6,000億円に増額することをお知らせしました。

このたび、エンタープライズ用サーバやデータセンター向けを中心に3次元フラッシュメモリの需要拡大が2018年度以降も見込まれることから、東芝メモリが上述の6,000億円の枠内にて、約1,400億円の生産設備の投資を実施することといたしました。（以下、本投資）なお、2017年度の設備投資額に変更ありません。

これにより、第6製造棟の建設進捗に合わせ、建屋内に96層積層プロセスを用いた3次元フラッシュメモリ固有の製造工程を担う最先端の成膜装置やエッチング装置などを導入します。

本投資に関する費用計上や支払いによる資金影響等は2018年度以降となるため、当社が2018年2月14日に公表した当社2017年度連結業績見通しに変更はありません。

なお、当社は、2018年3月26日付「(開示事項の経過) 東芝メモリ株式会社の株式譲渡契約締結に関するお知らせ」にて、東芝メモリをBain Capital Private Equity, LPを軸とする企業コンソーシアムにより組成される買収目的会社である株式会社 Pangea へ早期に譲渡することを目指している旨、公表しておりますが、本投資は、適時に設備を導入するために、2017年度設備投資計画の枠内にて年度内発注を実施するものであり、譲渡計画への影響はありません。

以上